

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131201		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	障害者住宅改造費助成事業			担当部局・課	健康福祉部 障害福祉課			
事業内容	日常生活を営むのに身体的に支障のある身体障害者でが、生涯にわたり、住み慣れた住まいで安心して健やかな生活が送れるように、住宅改造の相談指導を行い、住宅改造費に要した費用の一部を助成する事業。			事業開始(予定)年度		B		
				—				
				事業終了(予定)年度				
				—				
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	障害者の在宅生活支援サービスの提供					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	障害者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送ることができる住環境を整備する為、住宅を社会公共財という視点から、障害者に対応した既存住宅の改造に要する経費を助成し、長寿社会に対応した人にやさしい住まいづくりと「福祉のまちづくり条例」の理念を実現することを目的とする。			予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款） 民生費 （項） 障害福祉費 （目） 障害福祉総務費 （事項） 地域福祉対策費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	1,813千円	財源内訳		事業費	1,000千円	財源内訳	
			国・県補助金等	906千円			国・県補助金等	500千円
			市 債	—			市 債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	907千円			一般財源(市税等)	500千円
	投入人員	0.03人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.03人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	257千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	257千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
	経費合計	2,070千円		経費合計	1,257千円			
活動指標	指標名(単位)	利用件数（件）			計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	利用件数				計画値	10	5
						実績値	8	